

科目名	管理会計論 Managerial Accounting		選択	2 単位
学期・曜日・時限	春・月・3 限	春・月・5 限	-	-
担当教員名	金 紅花	e-mail		
<p><講義の概要と目的></p> <p>管理会計は、企業の実務と密接な関係を持ち、経営管理に役立つ会計情報を提供することを目的としている。伝統的な管理会計の役割は、戦略を所与の存在として、戦略を実行するために、意思決定を行い、従業員の行動を統制し、業績を適切に評価できるように、経営管理者を支援することにあつた。しかし、近年戦略の重要性が高まることによって、戦略を所与の存在とせず、戦略の学習と戦略のマネジメントに貢献する戦略的管理会計が注目されている。</p> <p>そこで、本講義はマネジメント・コントロール（原価管理会計と利益管理会計領域）のための管理会計と経営意思決定のための管理会計という伝統的な管理会計の枠組みとともに、新たな戦略的管理会計という視点を意識して管理会計の各論点を論じていく。</p> <p><到達目標></p> <p>本講義は管理会計の基礎知識の体系的理解とその基礎的な応用能力を獲得することと戦略を実践する上でのマネジメント・コントロールの特性を理解し、企業における管理会計情報の活用手法を身につけることを目標としている。</p>				
<p><講義計画></p> <p>1 回目：ガイダンスおよび管理会計の基礎</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：経営者のための管理会計、企業価値創造のための管理会計 <p>2 回目：原価計算による製品原価の算定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：原価と原価計算における概念と分類、製品原価算定の手続き <p>3 回目：標準原価計算と活動基準原価計算（ABC）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：標準原価計算の特徴と限界、ABC の基礎概念、意義と目的、計算例 <p>4 回目：原価企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：原価企画の目的と特徴、原価企画・原価改善・原価維持の体系、原価企画のための原価概念 <p>5 回目：事例考察 1：企業におけるコスト・マネジメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：グループ発表・討議（第 1 回） <p>6 回目：直接原価計算と利益管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：直接原価計算の計算構造と意義、CVP 分析、直接原価計算情報の活用 <p>7 回目：予算管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：利益計画と企業予算、予算管理の意義、予算編成の手続き、予算統制の方法とその限界 <p>8 回目：ミニ・プロフィット・センター会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：京セラアメーバ経営のフレームワークと事例解説 <p>9 回目：事例考察 2：アメーバ経営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：グループ発表・討議（第 2 回） <p>10 回目：経営意思決定のための会計</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：意思決定会計の意義と区分、意思決定のための原価、業務的意思決定の事例 <p>11 回目：戦略的意思決定：設備投資意思決定①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要点：戦略的意思決定における管理会計の役割、設備投資計画案とキャッシュ・フロー <p>12 回目：戦略的意思決定：設備投資意思決定②</p>				

<p>・要点：設備投資の経済性計算</p> <p>13回目：バランスト・スコアカード（BSC）と戦略マップ</p> <p>・要点：BSC体系と意義、BSC役割の変遷、戦略マップの構造と意義、日本のBSC経営の現状と課題</p> <p>14回目：事例考察3：バランスト・スコアカード（BSC）と戦略マップの導入</p> <p>・要点：グループ発表・討議（第3回）</p> <p>15回目：講義全体のまとめ</p> <p>・要点：戦略を実行するためのマネジメント・コントロールの特性等を整理する。</p>
<p><講義の進め方></p> <p>各回のテーマに関する基本概念と応用事例について紹介しながら解説するとともに、ホームワークとグループ発表の補足説明を行う。</p>
<p><事前事後学習内容></p> <p>事前に毎回の配布資料の精読とホームワークとグループワークの参加を必須とする。</p> <p><予習・復習時間></p> <p>各回の予習・復習（ホームワークを含む）には、それぞれおよそ2時間相当かかると想定され、グループワークについては学生主導で時間配分を行う。</p>
<p><教科書及び教材></p> <p>各回の講義のエッセンスが広範な内容となるため、毎回プリント（講義資料）を配付する。</p>
<p><参考書></p> <p>「管理会計・入門（最新版）」浅田・頼・鈴木・中川、有斐閣アルマ</p> <p>「管理会計（最新版）」櫻井通晴、同文館出版</p> <p>「管理会計レクチャー〔基礎編〕」門田安弘、税務経理協会</p> <p>「管理会計レクチャー〔上級編〕」門田安弘、税務経理協会</p> <p>「業績管理会計（体系現代会計学）」谷 武幸・小林啓孝・小倉 昇（編）（2010）、中央経済社出版</p> <p>「戦略管理会計（体系現代会計学）」浅田孝幸・伊藤嘉博（編）（2011）、中央経済社出版</p> <p>「戦略評価の経営学 - 戦略の実行を支える業績評価と会計システム - 」ロバート・サイモンズ、ダイヤモンド社</p>
<p><成績評価方法></p> <p>欠席6回以上は成績評価しない。</p> <p>講義において受講者に発言を求める。さらに、レポートで理解度を確認する。</p> <p>評点（100点）＝レポート（30点）＋ホームワーク（20点）＋グループワーク寄与度（30点）＋グループワーク発表時の議論への貢献度（20点）</p> <p><課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法></p> <p>学内SNSを通じて行う。</p>
<p><履修条件></p> <p>特になし。</p>
<p><DVDによる視聴> 可</p>
<p><オフィスアワー></p> <p>月・4限（事前に必ず連絡すること）</p>
<p><その他></p> <p>講義計画は、状況により変更することがある。</p>